

畜舎の火災事故に気をつけましょう

昨今、畜舎の火災事故が全国的に複数報道されています。

特に、夏場、冬場は消費電力が多くなり、発生リスクが高まります。

火災事故から大切な家畜と畜舎等を守るため、改めて下記について点検、確認いただき、火災の発生予防対策を徹底願います。

1 電気設備・配線の点検

①漏電の防止

- ・電気設備や配線に雨漏りや結露等による障害はないか。
- ・配線がドアに挟まれたり、ネズミにかじられる等によって、絶縁体の損傷や配線の露出や腐食はないか。
- ・プラグとコンセントの接続部分等にはほこりがたまっていないか。

②加熱の防止

- ・たこ足配線による容量超過はないか。
- ・プラグはコンセントにしっかり差し込まれているか。
- ・電気器具や装置に老朽化によるひび割れ等の異常はないか。

✓ 自己点検では難しいところは、専門業者の点検を受けましょう。

✓ 高所での作業には、ヘルメットや安全帯等による安全対策を。

寒い季節がきたら

2 暖房器具の取り扱いの確認

- ・暖房器具等の近くに乾草、餌袋等燃えやすなものはないか。
- ・暖房器具は消してから、給油・移動しているか。
- ・発火要因に繋がる作業には作業ルールを設定する。

3 火災発生を想定した準備

- ・消火器などの消火設備や火災報知器を設置・点検しましょう。
- ・家畜の避難方法や避難場所を決めておきましょう。
- ・従業員の消火・避難訓練を実施しましょう。